がんばる企業をサポートするビジネス情報誌

# クリエイティブ京都M&T

Management & Technology for Creative Kyoto

Mar.2009
03
No.043

## CONTENTS

P1・2 産・学・公が集う! 京都最大規模のビジネスイベント
P3 平成21年度各種助成制度の公募について
P4 お客様相談室事例紹介
P5・6 京都中小企業優秀技術賞受賞企業紹介
P7・8 セカンドライフシンポジウム
P9・10 産学公連携
P11・12 設備貸与制度
P13 新素材・加工技術セミナー
P14 機器紹介
P15・16 中小企業緊急サポート事業報告
P17・18 ものづくりベンチャー支援セミナー
P19 京都府織物・機械金属振興センター
P20 京都発明協会
P21・22 受発注コーナー
P23 行事予定表

京都府産業支援センター http://kyoto-isc.jp/
財団法人京都産業21 京都府中小企業技術センター

# 『京都ビジネス交流フェア2009』開催

平成21年2月19日（木）、20日（金）の2日間、京都府並びに（財）京都産業21の主催により京都市伏見区の「パルスプラザ（京都府総合見本市会館）」において、『京都ビジネス交流フェア2009』を開催しました。

オープニングセレモニーでは麻生純京都府副知事の挨拶があり、昨今の経済状況を反映して「不況の時こそ技術を磨く時です。このフェアが、ピンチをチャンスに変える催しとなることを期待しております」と述べられました。続いて（財）京都産業21の石田明理事長は、「京都には進取気鋭に富む風土があります。その知恵と経験を最大限に生かして、時代の変革に対応していきましょう」と挨拶しました。

フェアのメインイベントである『京都ビジネスパートナー交流会』には162社・グループが出展。府内外からメーカー・商社等、過去最大の8,150名が来場され、活発に商談が繰り広げられました。

また、大手メーカー等61社が参加して行われた『技術アライアンスコーナー』では、255社の中小企業が参加し、メーカーに対し懸命に自社をアピールしました。多数のご来場、誠にありがとうございました。

**日　時**　2009年2月19日（木）～20日（金）10:00～17:00
**会　場**　パルスプラザ（京都府総合見本市会館）京都市伏見区竹田
**主　催**　京都府、財団法人京都産業21
**共　催**　財団法人京都府総合見本市会館
**後　援**　近畿経済産業局、京都市、京都商工会議所、
社団法人京都経済同友会、社団法人京都工業会
**協　賛**　株式会社イシダ、NTT西日本 京都支店、大阪ガス株式会社、
オムロン株式会社、京セラ株式会社、株式会社京都銀行、
京都信用金庫、京都中央信用金庫、社団法人京都府情報産業協会、
京都リサーチパーク株式会社、サムコ株式会社、
サンコール株式会社、株式会社島津製作所、
大日本スクリーン製造株式会社、株式会社日進製作所、
日新電機株式会社、村田機械株式会社、株式会社村田製作所、
株式会社ユーシン精機、ローム株式会社（50音順）

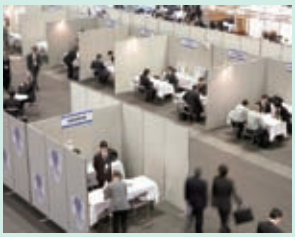
## ●中小企業展示コーナー

京都産業の活性化のため、京都企業の事業拡大、新分野・新事業進出のためのビジネスパートナーを広い分野から発掘する場の創出を目的として、府内中小企業の優れた加工技術、IT、オリジナル製品などを中心に据えた展示商談会形式にて、全国の主要メーカーや商社などとの〈出会い〉の場を設けました。

同コーナーにおける2日間の商談件数は654件で、同コーナーのあちこちでは活気溢れる商談がなされ、来場者が出展者に熱心に質問する姿も数多く見受けられました。

## ●技術アライアンスコーナー

自社製品と品質向上（モデルチェンジ）、コスト削減、新商品の企画等のために新技術、新工法を求め他社との連携を模索するメーカー61社と、独自技術の開発等、優秀な技術を持ち提案型営業を得意とする中小企業255社とのマッチングの場を提供しました。同コーナーにおける2日間の商談件数は836件（完全予約制）を数え、受注量の減少など厳しい状況の中、中身の濃い商談が繰り広げられ、大きな成果を上げることができました。今後、取引成立に向け両者で具体的折衝を展開していくことになります。



## ●きょうと連携交流ひろば2009

産学公連携や企業連携に積極的に取り組んでいる大学、企業連携グループ、金融機関、支援機関、産学公研究開発グループなどが一同に集い、ビジネスチャンス拡大のための仲間づくりに努めました。展示場では来場者や出展者同士の交流が盛んに行なわれ、プレゼンテーションでは積極的な質問と意見交換で熱気に包まれていました。

また、(独)科学技術振興機構JSTイノベーションプラザ京都が「新しい技術の息吹」をテーマに、企業への技術移転や共同研究を目的とした12のシーズ発表を行ない、新たな発見や新商品開発のヒントを求めて活発な議論が交わされていました。

(産学公研究開発グループによるプレゼン概要についてはP9-10に掲載)

## ●京都"ぎじゅつ"フォーラム2009

技術開発に成果を挙げ、京都産業の発展に貢献した企業等の功績を讃え顕彰する「京都中小企業技術大賞」。今年度の大賞は、他成分との配合下でも長期間安定する乳酸菌の製造技術を開発した日東薬品工業株式会社(代表取締役社長　北尾哲郎氏)が受賞し、表彰状や記念品などが贈られました。併せて、「IT活用による企業グループの競争力強化～製造業パートナーシップシステムの構築～」と題して、田中精工株式会社　取締役　坂本栄造氏による記念講演会を開催しました。

(講演要旨は4月号に掲載予定)

大賞受賞 日東薬品工業株式会社

大賞受賞スピーチ 森本取締役

記念講演 坂本取締役

## ●2009国際化セミナー

先の大統領選で勝利を収めた民主党のオバマ氏が第44代大統領に就任、米国の新政権が発足し、外交･経済政策がどのように転換することになるのかが大いに注目されます。

「オバマ新政権の通商経済政策と今後の日米関係」と題した本セミナーでは、「変化」をキャッチフレーズとしてオバマ旋風をもたらした大統領選挙のこぼれ話、新政権のイラク政策、景気対策、保護貿易と貿易摩擦再燃の可能性、対アジア･対中国･対北朝鮮政策、さらには新政権の対日観と日本の位置づけ、対日通商政策やビジネス環境の見通し等、幅広い内容について、ジェトロ「月刊ジェトロセンサー」編集長･主任調査研究員　木内 恵氏に講演いただきました。

(講演要旨は4月号以降に掲載予定)

## ●若者と中小企業とのネットワーク構築「プレゼン交流会」

京都府内ものづくり中小企業などが若手求職者に向けて、自社の強みや魅力についてのプレゼンテーションを行いました。プレゼンを聞いた参加者の皆さんは、プレゼン企業の展示ブースにも訪れ、熱心に質問していました。

【お問い合せ先】 (財) 京都産業 21 事業推進部 市場開拓グループ
TEL:075-315-8590 FAX:075-323-5211
E-mail:market@ki21.jp

# 平成21年度各種助成制度の公募について

近畿経済産業局及び㈶京都産業21において、平成21年度4月以降に公募する各種助成制度についてご案内します。募集期間の限定されている事業もありますのでご留意ください。

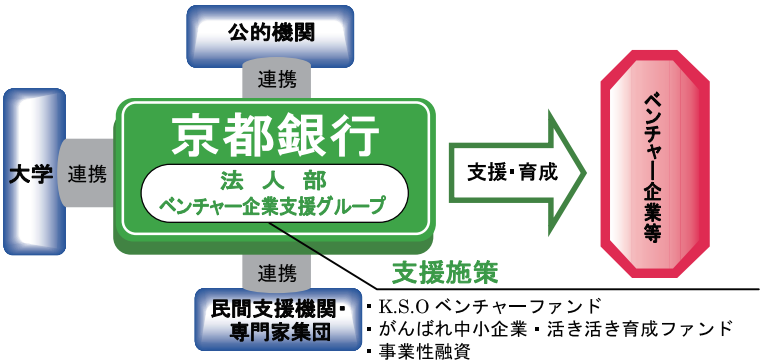
| 事業名 | 募集期間 | 対象事業者 | 連絡先 | 電話番号 | 概　要 |
|---|---|---|---|---|---|
| 地域イノベーション創出研究開発事業 | 4/1～4/22 | 民間企業、試験研究機関等によって構成される研究体 | 近畿経済産業局技術課 | 06-6966-6017 | 地域において新産業･新事業を創出し、地域経済の活性化を図るため、産学官の研究開発リソースの最適な組み合わせからなる研究体を組織し、新製品開発を目指す実用化技術の研究開発を実施します。<br>○契約形態／委託契約 |
| きょうと元気な地域づくり応援ファンド支援事業助成金 | 4/1～5/8 | ●府内において創業しようとするもの<br>●府内に事業所を有し、経営の革新を行おうとする中小企業者等 | ㈶京都産業21経営革新部 | 075-315-8848 | 当支援事業は、関係機関の出資を受けた基金の運用益を活用し、地域の様々な資源を活用した新しい事業にチャレンジする中小企業者等に対して、その事業の立ち上げ経費の一部を助成し、事業化を支援することで、地域力の再生を図るものです。 |
| 新事業活動促進支援補助金（新連携支援事業） | 7月 | 中小企業新事業活動促進法第11条による事業計画の認定を受けた者 | 近畿経済産業局創業･経営支援課 | 06-6966-6054 | 新連携とは、異分野の2者以上の中小企業が、それぞれの「強み」とする技術やノウハウを持ち寄ることで連携し、新商品の開発･生産や新サービスの提供等の新事業活動を行うことにより、新たな事業分野の開拓を図ることをいいます。新連携による新たな事業を行おうとする中小企業は「中小企業新事業活動促進法」に基づく事業計画の認定を受けることにより、政府系金融機関による低利融資制度、新連携対策補助金等の様々な支援策を受けることが可能となります。 |
| 新事業活動促進支援補助金（地域資源活用売れる商品作り支援事業） | 7月 | 地域資源活用法第6条による事業計画の認定を受けた者 | 近畿経済産業局創業･経営支援課 | 06-6966-6014 | 「中小企業地域資源活用促進法」では、都道府県知事が策定した「基本構想」により指定された地域資源を活用し、新商品の開発等新たな事業に取り組む中小企業が作成する事業計画を認定することにより、試作品開発、展示会出展等の販路開拓、設備投資など資金について、補助金、政府系金融機関による低利融資、設備投資減税措置、ファンド等による支援を行います。 |
| 新事業活動促進支援補助金（農商工等連携対策支援事業） | 7月 | 農商工等連携促進法第4条による事業計画の認定を受けた者 | 近畿経済産業局創業･経営支援課 | 06-6966-6014 | 中小企業者と農林漁業者が有機的に連携し、それぞれの経営資源を有効に活用して行う事業活動を促進することにより、中小企業者の経営の向上及び農林漁業者の経営の改善を図ることを目的とした制度です。具体的には、中小企業者と農林漁業者が共同で行う、新たな商品やサービスの開発等に取り組む事業計画について国が認定を行い、その事業で実施する試作品開発、展示会出展等の販路開拓、設備投資などに必要な資金について、補助金、政府系金融機関による低利融資、設備投資減税措置等の支援を行います。 |
| 戦略的基盤技術高度化支援事業 | 未定 | 「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」に基づく認定を受けている中小企業者 | 近畿経済産業局製造産業課 | 06-6966-6022 | 我が国経済を牽引していく産業分野（重要産業分野）の競争力を支える重要基盤技術の高度化等に向けて、法律に基づく認定を受けた中小企業が認定計画に沿って行う革新的かつハイリスクな研究開発や、生産プロセスイノベーション等を実現する研究開発に係る事業費を委託費として助成します。<br>○契約形態／委託契約 |


## ベンチャー企業支援グループのご案内

### 業務内容

●ベンチャーファンドによる株式投資やご融資を通じて、事業資金のサポートを行います。

●資金面の支援だけにとどまらず、公的機関・専門機関・大学等のネットワークである「京銀活き活きベンチャー支援ネットワーク」等を通じ、経営相談をはじめベンチャー企業のあらゆるニーズにお応えします。




支援施策
- K.S.O ベンチャーファンド
- がんばれ中小企業・活き活き育成ファンド
- 事業性融資
- 「京銀活き活きベンチャー支援ﾈｯﾄﾜｰｸ」の活用
- 各種支援機関紹介
- ビジネスマッチング
- セミナーなどの開催

飾らない銀行
京都銀行　法人部　ベンチャー企業支援グループ
お問い合わせは
TEL.075(361)2293
TEL.075(341)5984

# 相談事例:「新規分野への取り組み」について
## ～スタートラインは事業計画書の作成～

従来からの仕事に先行き不安があるなどの理由から、新規分野に取り組もうとすることに関する相談も大変多い事例です。

その中には、同じ分野であるがこれまでの製品とは一味違う新製品という相談から、現在の仕事とは全く懸け離れた分野の新規事業等まで様々なものがあります。

そして相談内容も、その製品の工法･作り方など技術や設備に関するもの、性能や品質の試験･評価に関するもの、販売方法･販売先等マーケティングに関するもの、資金調達問題等多岐にわたっています。

具体的に内容を伺うと、その事業や製品に対するご本人の思い入れ･期待感は大変高いものがあるものの、対象とする市場が不明確だったり、それを実現させるプロセスが熟慮されていないケースがよく見られます。

もちろん取組み初期にはやることが多く、なかなかこれらに手が回り難い事情も理解できますが、“事業計画(“ビジネスプラン”)”を先ず立案し、これから取組もうとしている内容を精査(吟味･調査)しておくことが必須です。

事業計画と言っても、最初からカッチリしたものは必要なく、創業時に作ったもの、インターネットなどにある一般的書式を参考にして課題を整理してみることです。

ラフなものであっても事業計画書やそれに準じるものをお持ちの場合には、こちらからの助言も具体的に出来、有意義な相談になっているケースが多いと感じています。

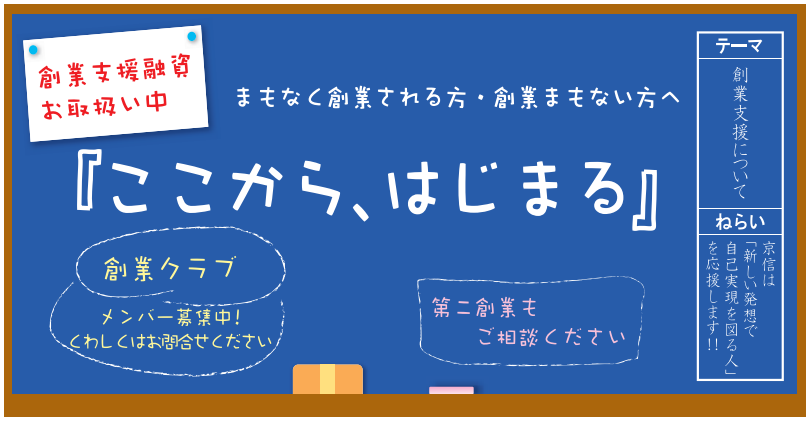
事業の推進には、協力者･支援者･客先･金融関係者等の理解が必要であり、いろいろな局面で計画概要の説明をすることになりますが、書面化したものをベースに実施しなければ上手く行かないのは言うまでもありません。

また、自分自身も事業計画書を作成することにより、何が出来ていて何が不足しているか、客観性や説得性のある計画かどうか等を気付かされるものと思われます。

**☆　事業計画書が無ければ、前には進めない。～事業計画書は、関係者の理解を得るための“必須ツール”～**

- ○ 事業の内容を論理的に整理し、仮説を立てて不明なところや疑問点を調査し、精度を高めていく。
- ○ 特に、本事業(製品)の特長や強みが市場からも共感を得られそうか、その論点は確かなのかを、計画の中でも検証する。
- ○ 先ず、ラフなものでよいので作ってみて、第三者の意見などを聞き、ステージごとによいものにして行く。(特に統一的な様式はない。)
- ○ 資金の必要な時期･額と、売上金の回収時期･額、借り入れ計画等のキャッシュフローに抜かりがないか、余裕を持って計画して欲しいものです。

【お問い合せ先】
京都府産業支援センター
お客様相談室
TEL:075-315-8660　FAX:075-315-9091
E-mail:okyaku@ki21.jp




**京信創業支援融資制度『ここから、はじまる』**

■ご利用いただける方
当金庫の営業エリア内で、新たに事業を始める方、または事業開始後税務申告を2期終えていない方

■商品概要
お客様の事業の進捗状況に合わせて、当初は当座貸越、その後事業の進展に伴い証書貸付で、創業を支援する融資商品をご用意いたしました。

●お使いみち　運転資金・設備資金
●ご融資金額　原則として所要資金の８０%以内
●ご融資期間　当座貸越は、融資後１年目の応答日以降に迎える決算日の４ヵ月後まで
(最短約１６ヵ月、最長約２８ヵ月)
証書貸付は、原則として１０年以内
●ご返済方式　当座貸越は、元金任意返済方式
証書貸付は、元金均等分割返済方式
●ご融資利率　当座貸越　年1.5０%（固定金利）
証書貸付　返済期間５年以内　年3.5０%（変動金利）
返済期間７年以内　年3.7５%（変動金利）
返済期間７年超　年4.0０%（変動金利）
＊証書貸付のご融資利率は金利情勢の変化により変更することがあります。表示の利率は、平成20年4月1日現在の当金庫短期プライムレート(年3.0%)を基準としたものです。ご融資後の融資利率は当金庫短期プライムレートに連動する変動金利です。
＊証書貸付は、直前の決算の営業利益（注１）が当初の「事業計画書」通り達成されている場合は年0.2%優遇します。
（注１）個人の場合は青色申告書の経費差引金額とします。
●保　証　人　法人の場合　代表者の特定保証
個人の場合　法定相続人１名の特定保証
●担　　保　原則不要。
但し土地建物を購入する場合等は担保設定が必要です。
●お取扱期間　平成２０年４月１日～平成２１年３月３１日
■お申込時に必要な書類等
●当金庫所定の事業計画書及び申込書類
■審査の結果、融資をお断りすることがあります。
■くわしくはお近くの店舗までお問合せください。
【平成20年4月10日現在】

地域とともに　コミュニティ・バンク　京都信用金庫

# 京の技シリーズ
## ～技術開発に成果をあげ京都産業に貢献した中小企業の紹介～

平成19年度「京都中小企業優秀技術賞」を受賞された企業の概要及び開発された技術・製品等について、「京の技シリーズ」と題し、代表者や技術者の方々にお話をうかがいます。

▲代表取締役　三木 正之 氏

## 【第5回】株式会社 リベックス

『ラインレゾルバ』

今回受賞したラインレゾルバ

### ●事業内容

当社は、生産ラインから研究開発まで、幅広い現場で対応できるセンサー及び関連機器の開発と販売を行っています。主な製品は、物体の移動量や寸法、位置を測定できる小型変位センサー、製鉄所など環境の厳しい現場でも高精度の測定が可能な耐環境高分解能位置センサーなどです。

私はもともと京都市内の大手精密機器メーカーで20年、その後センサー関連の会社で7年勤務しました。そして独立し、平成7年に当社を立ち上げました。センサー開発のノウハウはありましたが、当時は私どものようなベンチャー企業への助成制度もなく、お金が借りられませんでした。大手企業に勤める友人の紹介で下請けや開発委託などの仕事をいただき、なんとか会社を維持しました。やがて、それらの継続的な発注をこなし売上を積み上げることで銀行の信用を得られ、資金を調達できるようになりました。

当社が初めてセンサーを納品できたのは製鉄会社でした。製鉄業界は、たとえ良い製品であっても、信用がなければなかなか使ってくれません。ですから、まずある機械メーカーと組んで製鉄会社を何度も訪問し、コミュニケーションの機会を増やし、周辺設備で実績を積むことで徐々に信用してもらいました。ベンチャー企業が信用を得るにはそのような手順が必要だったのです。

現在では、鉄鋼、精密機器、自動車メーカーから大学、官庁まで幅広く取引をさせていただいています。

### ●受賞技術について

受賞したのは「ラインレゾルバ」という耐環境高分解能位置センサーです。主に製鉄所の圧延工程で、鉄の厚みを測定するのに用いられています。

製鉄所では、鉄板を600ミクロンの厚さに圧延加工して自動車メーカーに納めています。1ミクロンの差が大きなコスト差になるので、激しい振動や高温多湿など劣悪な環境下の圧延工程でも、厳しい品質管理が求められます。当社のセンサーは電磁気による位相差検出を利用しているので、外乱や信号減衰による測定誤差がほとんど起こりません。またシンプルな構造にしたため、多振動、高音、油、水、水蒸気がかかる場所でも耐久力があります。

ラインレゾルバ開発以前、圧延工程で使用された計測機器は、構造が繊細なためトラブルが多く、製造ラインがしばしばストップしました。ラインが1時間止まると、数千万円の損害になり、トラブルを起こさない耐久力と高い精度を持つセンサーが求められました。それが、ラインレゾルバなのです。

今回の受賞はとても意義深いですね。当社のような20人規模のベンチャー企業が信用されるには、受賞実績が重要です。公的な認定があることで事業展開の幅が広がるため、目に見えない大きい力になると思います。

### ●今後の抱負

サブミクロンレベルの分解能を持った超小型のものから、直径100φ以上のもの、長さ方向数百メートルの測定が可能なものまで、幅広い種類のセンサーを開発しているのが当社の特長です。最近では、大手自動車メーカーの衝突試験等にも当社のセンサーを使っていただいています。大学からの需要も増え、主に最先端医療研究で当社のセンサーが使われています。このように展開の幅が広がっているのはうれしいことですが、今後はセンサーだけでなく「動くもの」、例えばロボットのような駆動体を作ることを検討しています。もともと当社を立ち上げたのは、この「動くもの」を作りたかったからです。センサーが主力の現在はまだ準備段階ですが、今後センサーを中心に、電動アクチュエータ、油圧システムなど周辺駆動機器を付けたかたちで発展させていきたいですね。

当社は開発主体の技術者集団です。つまり技術と知識を

しっかり確保し、製造は外注しています。初めからそのような会社を作ることを目的としていました。なぜなら、最終的にものづくりの工程が人件費の安い海外に移っても、コア技術を持つことで生き残れると思うからです。これは日本企業の将来の在り方のひとつだと、私は考えています。また開発主体でいることで、技術者の夢を実現する可能性が高まります。これがモチベーションとなり、今後も質の高い人材が集まってくれると思っています。ただ、将来は技術者集団としての立場は堅持しますが、ノウハウを外に出せないものについては自社で製造することも考えています。

今年は国内のみならず韓国、中国など海外への販路拡大も予定しています。当社にとって本当の意味でのスタートの年となるでしょう。

## 技術者の声

取締役 技師長　**戸田 成二** 氏

ラインレゾルバの開発期間は試作を含めて約2年でした。開発にあたり、電気信号の精度が落ちやすい長距離ケーブルで、いかに精度を維持するかに苦心しました。シンプルな構造にしたのは必要に迫られたためです。設置環境が劣悪なため、中に電子機器を入れられません。複雑な構造にすればトラブル要因も増えるため、センサー部はコイルのみにして、複雑な電気的処理は比較的環境の良い場所で実行する仕組みにしました。

私はもともとセンサーを開発していたのではなく、機械メーカーで制御系の仕事をしていました。当社の他のスタッフも異業種の出身者が多く、幅広い視点でものを見ることができるのが当社の強みだと思います。

▲社屋外観

▲約20年の付き合いという三木正之社長(右)と戸田成二氏

### 会社概要

- ●会　社　名：株式会社 リベックス
- ●所　在　地：〒600-8864　京都市下京区七条御所ノ内南町102番地
- ●設　　立：平成7年
- ●代　表　者：代表取締役社長　三木 正之
- ●資　本　金：2億4274万円
- ●事業内容：センサー及び関連機器の開発・販売
- ●U　R　L：http://www.levex.co.jp/

【お問い合せ先】（財）京都産業 21 経営革新部 経営企画グループ　TEL：075-315-8848　FAX：075-315-9240　E-mail：keieikikaku@ki21.jp


一緒がうれしい On Your Side

中信 ベンチャーローン

創業・新事業目指す法人・個人のみなさんを支援いたします

《お使いみち》
●研究開発資金、事業展開に必要な運転資金・設備資金
●新事業開始にともなう起業家創業資金

中信ベンチャーローンにて対応可能な先

- ● 京都府知事より「中小企業創造活動促進法※」の認定を受けた方
- ● 京都府知事より「中小企業新事業活動促進法」「中小企業経営革新支援法※」の承認を受けた方
- ● 立命館大学より「研究契約書」の発行を受けた方
- ● 京都市ベンチャー企業目利き委員会よりAランクの認定を受けた方
- ● 財団法人京都市中小企業支援センターが実施する企業価値創出支援制度において“オスカー認定”を受けた方
- ● 以下のインキュベーション施設に入居の方
  - ・「京都大学連携型起業家育成施設（通称:京大桂ベンチャープラザ）」
  - ・「立命館大学連携起業家育成施設（通称:立命館大学BKCインキュベータ）」
  - ・「京都新事業創出型事業施設（通称:クリエイション・コア京都御車）」
  - ・「同志社大学連携型起業家育成施設（通称:D−egg）」
  - ・「京都桂新事業創出型事業施設」
  - ・京都府けいはんなベンチャーセンター・インキュベートルーム
  - ・龍谷大学エクステンションセンター・レンタルラボ
  - ・京都工芸繊維大学インキュベーションセンター
- ● 上記の他、当金庫が将来性・成長性ありと認める方

※現在「中小企業創造活動促進法」および「中小企業経営革新支援法」に基づく認定・承認は、法律改正により行われていません。ただし、法律改正施行日の平成17年4月13日以前に知事の認定・承認を受けている方は、平成22年4月12日までの間、本ローンの対象となります。

| | |
|---|---|
| 1．ご融資金額 | ・一企業１億円以内（無担保扱いは２千万円以内） |
| 2．ご融資期間 | ・運転資金：　７年以内（元金据置２年以内可）<br>・設備資金：１０年以内（元金据置２年以内可） |
| 3．ご融資利率 | ・変動金利：新長期プライムレート即時連動型 |
| 4．ご返済方法 | ・元金均等返済または元利均等返済 |
| 5．担　　保 | ・担保もしくは保証協会保証必要。ただし、無担保扱いも可 |
| 6．保　証　人 | ・法人：代表者１名（無担保扱いの場合社内保証人１名追加要）<br>・個人：法定相続人（無担保扱いの場合別途事業従事者１名要） |

※お申し込みに際しましては、当金庫所定の審査をさせていただきます。
審査結果によってはご希望にそえない場合がございますのでご了承ください。
※店頭に「説明書」をご用意しています。金利情報・返済額の試算等詳しくは窓口またはフリーダイヤル（通話料無料）０１２０−２０１−９５９〔受付時間 9:00 ～ 17:00（当金庫の休業日は除きます）〕へお問い合わせください。

京都 中央信用金庫

## 3Diビジネス研究会　活動結果報告会

# セカンドライフ オープンシンポジウム

### はじめに

○㈶京都産業21では、KIIC会員交流事業の一環として「3Diビジネス研究会」を平成19年9月に発足しました。この研究会は、リンデンラボ社のセカンドライフ(SL)上にSIM(仮想空間におけるエリア)を確保して、インターネット上の3次元仮想空間におけるビジネス利用の可能性と課題を探るため、企業、大学、公的支援機関など46社･大学･団体が会員として参加し、14回の研究会開催、2回のオープンシンポジウムなどを開催してきました。

○また、多面的な可能性を持つセカンドライフでの検証を効率的に行うため、リンデンラボ社のセカンドライフ上に設けたSIM(名称:Kyoto 3Di Lab)にエデュケーション、コミュニティ、プロモーション、eコマースの4つのエリアを設定、それぞれプロジェクトを立ち上げ、並行して実証実験を進めてきました。

○3Diビジネス研究会は、発足当初から活動期間を平成20年12月までと設定していたことから、１年余りの研究会活動の総括と報告会として、平成21年1月28日(水)にオープンシンポジウムを開催し、バーチュオシティ株式会社代表取締役 小林昇氏による「仮想世界における教育ビジネスの可能性について～バーチャル語学スクールCHACHAT!による立体英会話」と題した講演の後、各エリアからの報告がありましたので、座談会を中心にその概要を紹介します。

小林 昇 氏

○最近のセカンドライフに見られるネット上の仮想空間の状況は、世界的にはまだまだ拡大していますが、日本では一時のブームが過ぎ去り、利用者も減少傾向にあります。この原因としては、コンテンツ(情報内容)よりもプラットフォーム(SIM)形成に力点が置かれた結果、魅力的なコンテンツが少なかったことや、インターネットとの差別化が困難なことがあげられますが、この活動を通じて新たな共同研究などの連携活動が生まれており、㈶京都産業21としても、引き続きこのような連携活動を支援していきたいと考えています。

## 〈各エリアからの活動報告〉

**プロモーションエリア　中谷 淳 氏（株式会社インスパイア 代表取締役）**

プロモーションエリアでは、SIM全体の広報PRや各種情報の発信を担当しました。主なものとして、例年京都新聞社が主催して平安神宮で開催される「紅しだれコンサート」のSL版のプロモーションを担当しました。実際の「紅しだれコンサート」は、平安神宮東神苑の尚美館で行われますから、SL上に尚美館を再現することからはじめ、SL内で活躍されている4組のアーティストを招いてライブイベントを行いました。開催前に京都新聞と朝日新聞にも掲載され、当日は定員70名を大きく上回る延べ100人以上を動員。アクセスがしにくくなるほどの大盛況でした。またSL専門の情報サイト「セカンドタイムズ」でも取り上げられ、毎週50本以上のニュースリリースがある中で、その週のアクセス数1位となり大きな反響を呼びました。

**コミュニティエリア　吉藤 貞啓 氏（株式会社トーセ フェロー）**

コミュニティエリアは、仮想空間でのコミュニケーションやSIM全体のイベント開催の場としての可能性を研究してきました。エリア内に共有施設としてのステージとカフェを設置したほか、訪れたアバター（自分自身のキャラクター）を見つけて挨拶をするロボットを設置しました。このロボットは訪れたアバターの名前を自動的に収集します。ここでの出会いをきっかけに、アバターの間でのコミュニケーションが活発になったというのもひとつの収穫といえます。

**e-コマースエリア　山下 悦和 氏（株式会社ナスコ・バイオシステムズ 常務取締役）**

このエリアでは、SL内のe−コマース（ビジネス活用）の可能性を探るべく、大東寝具工業㈱、オーエフ・テック㈱、東映㈱、㈱ナスコ・バイオシステムズ、㈱太洋堂に参加していただきました。大東寝具工業㈱とオーエフ・テック㈱は仮想店舗にショールームを設置し、実際にカスタマーサポートのシミュレーションを行い、東映㈱はミニシアターで映画の予告編と「メタル侍」（30分のオリジナル作品）を上映しました。㈱ナスコ・バイオシステムズはアバター用の洋服屋を出店し、1ヶ月30万〜40万L$（約10万〜20万円）の収益がありました。このことから、仮想空間用のアイテム販売をビジネスとして行っているユーザーの存在も推察されました。

**e-コマースエリア　生瀬 行弘 氏（株式会社 太洋堂 企画戦略室マーケティンググループリーダー）**

㈱太洋堂は、社内で源氏物語千年紀のウェブプロモーションを担当している部署とタイアップしました。まずエリア内に宮中の一部を再現して、アバターが着る十二単の衣装を無料配布したところ、配布数は月間500以上にのぼりました。第2弾は、公式ウェブサイトで販売している「源氏物語千年紀記念 特別パスポート」を販売しました。これらの活動は、セカンドタイムズなどSL専門の情報サイトや雑誌で紹介されたほか、源氏物語千年紀関連の記事でも取り上げられました。中には、海外からスペイン人記者の取材もありました。

**エデュケーションエリア　細井 浩一 氏（立命館大学映像学部教授）**

エデュケーションエリアでは、京都大学、立命館大学、和歌山大学など5つの大学がそれぞれの検証テーマに取り組みました。京都大学と京都工芸繊維大学の2つのエリアでは、主に研究発表や情報発信を重点的に行いました。当初のSLは世界的に学者の利用が多いアカデミックな空間だったので、ある意味オーソドックスな活用法です。和歌山大学が担当した「言語グリッド」は、多言語翻訳システムの実証実験を行うもので、先端的な学術研究の、仮想空間でのひとつの活用法を示したのではないかと思います。立命館大学エリアでは、映像学部が中心となって、衣笠キャンパス「充光館」学舎の再現や㈱ハウスセゾンとの共同プロジェクトによる店舗およびモデルルームの設置に取組みました。これは、従来なら間取りなどを平面的に捉えていたものを仮想空間で立体的に把握できるようにしたもので、現実の店舗で利用できるようにしています。また、伝統芸能である能を3D空間で表現して、アバターは能のシテ役を疑似体験できるという取組も行いました。

**最後に　細井 浩一 氏（立命館大学映像学部教授）**

４つのエリアからの報告を通じて、このネット上の仮想空間が持つ可能性、特に情報発信の機能と疑似体験機能の可能性について、ある程度ご理解頂けたかと思いますが、特にビジネス活用という面では課題もまた多いというのが率直なところです。しかし、教育や研究という面ではかなりのポテンシャルを持っていることも分かってきましたので、その中から新しいビジネスモデルが出てくるでしょう。この研究会で培われてきた取組みや成果を、違う形で継続して頂きたいと思います。


ゲームソフトからモバイルコンテンツまで
多彩なデジタルエンターテイメントを創造し、広く社会に貢献します。

事業内容…◎ゲームソフト企画・開発
◎モバイル・インターネット関連コンテンツ企画・開発・運営

事業拠点…京都4拠点、東京、名古屋、札幌、沖縄
中国（上海・杭州）、アメリカ（カリフォルニア）

地球のココロおどらせよう。

株式会社トーセ
〒600-8091 京都市下京区東洞院通四条下ル
TEL.075-342-2525　FAX.075-342-2524
ホームページ http://www.tose.co.jp/　〈証券コード4728、東証・大証一部上場〉

# きょうと連携交流ひろば2009 開催

『京都ビジネス交流フェア2009』併催事業の「きょうと連携交流ひろば2009」では、産学公連携や企業連携に積極的に取り組んでいる大学や高校、各種支援機関、金融機関、新連携や地域資源を含めた企業連携グループ、そして、平成19･20年度に環境産業等産学公研究開発支援事業で採択された産学公研究開発グループの展示出展やプレゼンテーションを開催し、新たな連携の可能性について交流が行われました。

## 「環境産業等産学公研究開発支援事業」採択グループによるプレゼンテーション

| 企業名<br>連携先(大学･企業等) | 研究テーマ及び内容 |
|---|---|
| ㈱城南電器工業所<br>同志社大学 | **「動植物性廃油を環境に優しいバイオ燃料へ再生利用する新規固体触媒法反応装置に関する研究開発」**<br>酸化カルシウム触媒やこれら固体塩基触媒利用のための反応技術をプロセス化し、動植物性廃油をバイオディーセル燃料へ再生する100リットル規模の装置を研究開発･試作すると共に、これが実用化に耐えうるモノであることを実証する。 |
| ㈱エックスレイプレシジョン<br>京都大学、筑波大学、京都府中小企業技術センター | **「可搬型X線分析CT装置に関する研究開発」**<br>検体試料を光学像で確認しながら①元素分析②X線透視③断層撮影ができる可搬型のX線分析CT装置の試作研究開発を行う。 |
| ㈱プラムテック<br>京都大学、名古屋大学、タツタ電線㈱、日本電気硝子㈱、矢崎総業㈱、㈱西村製作所 | **「大気中の温室効果ガス計測新技術の開発」**<br>地球温暖化の主な原因である大気中$CO_2$の濃度を測定するため、2つのタイプの測定装置を開発した。①太陽光の大気通過時に$CO_2$による光吸収を利用した鉛直(カラム密度)計測のエタロン$CO_2$計②気球への搭載や小中学校の教育現場で使う、手のひらサイズの超小型$CO_2$計。 |
| スキューズ㈱<br>同志社大学、東京大学 | **「エアーマッスルを用いた高機能義手実用化に関する研究開発」**<br>独自に開発した低圧駆動型小型空気圧アクチュエータ(エアーマッスル)を利用した高機能義手向けのハンド装置の研究開発を実施し、高機能義手の課題である「軽量化(従来は1kg、研究開発の成果として0.45kgの軽量化に成功)」と「動作の高度化(綿棒も摘める器用さ)」を実現した。高機能義手のみならず、次世代産業用ロボット向けハンド装置として注目を集めている。 |

OMRON

気になる部位ごとの
「皮下脂肪率」「骨格筋率」がわかる。

KaradaScan™
オムロン 体重体組成計 カラダスキャン

「人は外見より中身」
なんて言ってたら、
中までチェック
されちゃった。



オムロン体重体組成計「カラダスキャン」HBF-362
オープン価格

オムロン ヘルスケア株式会社
〒615-0084 京都市右京区山ノ内山ノ下町24番地 http://www.healthcare.omron.co.jp
購入前相談や商品の使い方などお気軽にお問い合わせください。
受付時間 祝日を除く(月～金)9:00～19:00(都合によりお休みさせていただくことがあります)
オムロン お客様サービスセンター
0120-30-6606

| | |
|---|---|
| NPO法人アイ･コラボレーション<br>京都府立医科大学、㈱アークス、㈱スマートテクノロジーズ、㈲エイチアイトラベル、㈳全国脊髄損傷者連合会京都府支部 | **「観光都市京都の可能性を高める「ユビキタスバリア＆バリアフリーマップ」に関する実証実験」**<br>2007年度に作成した「ばりかん！京都」（京都府内の観光地バリア情報サイト）のさらなる発展型として、「障害者･高齢者及びその家族」らの視点や経験に基づく、観光時の移動に関するバリア及びバリアフリー情報（画像情報、位置情報、時間情報、テキスト情報）を、使用者らが自の手で簡単かつ正確に登録～掲載を可能とするだけでなく、GPSケータイからサーバーにアクセスする事で、外出時、旅行道中などでも簡単に周辺のバリア･バリアフリー情報を検索、閲覧可能とするクロスメディア型情報管理システム（GPSケータイと完全連携したWEB-GIS）として構築～リリースする。 |
| ㈱ゴビ<br>立命館大学、滋賀医科大学 | **「高齢者の生活意欲推定のための運動量収集に関する実証実験」**<br>近年、子供と離れて生活する高齢者世帯が急増しており、その生活状況を見守る手段が強く望まれている。これまでにセンサやカメラを用いて身体的な危険が発生したことを検知･通報するシステムが開発されているが、精神的に危険な状態をも検知できれば事前にケアすることが可能になる。本研究開発では、電子タグを用いて日常生活の状況を把握し、その推移から生活意欲の状況を推定する技術を開発･検証する。 |
| ㈱とめ研究所<br>㈱情報通信研究機構 | **「ユーザ参加型3Dアニメーションデータベースの実証実験」**<br>アニメーションを部品化し再構成することで新たなアニメーションコンテンツを容易に作成できる3Dデータベースを開発し、その実証実験を行う。特に、自然言語のインタフェースを改良することと、その実証実験を中心に行う。 |

●興味のあるテーマにつきましてはお問い合わせください。

【お問い合せ先】
（財）京都産業２１ 連携推進部
産学公・ベンチャー支援グループ
TEL：075-315-9425 FAX：075-314-4720
E-mail：sangaku@ki21.jp

**未来ってどうなっているんだろう？**
空飛ぶ車、ロボット、飛び出す映画…。
私たちの仕事は電子部品というタネを、
エレクトロニクスの世界に送り込むこと。
つまり、あなたが想像する豊かな未来を実現すること。
携帯電話、カーナビ、パソコン…。
ほら、ちょっと前に想像していた未来が、
もう今は実現されているでしょう？
私たちの創る小さな部品は、未来の始まり。
小さな部品で、エレクトロニクスの世界に
たくさんの花を咲かせていきます。

ムラタの部品（タネ）が未来を創る。

株式会社村田製作所　本社：〒617-8555京都府長岡京市東神足1丁目10番1号　お問い合わせ先：広報部　phone:075-955-6786　http://www.murata.co.jp/

Innovator in Electronics
muRata
村田製作所

# 京都産業21が設備投資を応援します!

企業の皆様が必要な設備を導入する場合に、その設備を財団が代わってメーカーやディーラーから購入して、その設備を長期かつ低利で割賦販売またはリースする制度です。
詳しくは、設備導入支援グループまでお問い合わせください。

〈ご利用のススメ〉
■信用保証協会の保証枠外、金融機関借入枠外で利用できるので、運転資金やその他の資金調達に余裕ができます！
■割賦損料率・リース料率は固定なので、安心して長期事業計画が立てられます！

| 区　分 | 割賦販売 | リース |
|---|---|---|
| 対象企業 | 原則、従業員20人以下(ただし、商業・サービス業等は、５名以下)の企業ですが、最大50名以下の企業も利用可能です。その場合、一定の制限がありますので詳しくはお問い合わせください。<br>[事業実績が１年未満の場合は、原則として商工会議所、商工会、商工会連合会の経営指導員による経営指導を６ヶ月以上受けていることが条件になります。] | |
| 対象設備 | 機械設備等(土地、建物、構築物、賃貸借用設備等は対象外)　新品に限ります。<br>リースの場合は、再販可能なものに限ります。(オーダー製品、構造物に付随するもの等は対象外) | |
| 対象設備の金額(消費税込) | 事業実績が１年以上あれば100万円～6,000万円／年度まで利用可能です。<br>[事業実績が１年未満の場合は、50万円～3,000万円／年度] | |
| 割賦期間及びリース期間 | ７年以内(償還期間)<br>(ただし、法定耐用年数以内) | ３～７年<br>(法定耐用年数に応じて) |
| 割賦損料率及び月額リース料率 | 年2.50%<br>(設備価格の10%の保証金が契約時に必要です) | 3年2.990%　4年2.296%<br>5年1.868%　6年1.592%<br>7年1.390% |
| 連帯保証人 | ■原則、法人企業の場合は、代表者１人(年齢が満70歳以上の場合は、原則後継者を追加してください)<br>個人企業の場合は、申込者本人を除き1人でお申し込みいただけます。<br>■なお、審査委員会で、追加連帯保証人・担保を求められることがあります。 | |
| 設備導入時期 | 審査委員会は、原則月１回開催しています。<br>当月15日までにお申し込みいただくと翌月の審査委員会に上程します。<br>お申し込みから設備導入日(契約日)まで約50日かかります。(お急ぎの場合は、ご相談ください) | |

※割賦損料率(金利)及び月額リース料率は、金利情勢に応じて見直しますので、詳しくは財団にお問い合わせください。
なお、契約後の料率の見直しはありません。(固定金利)

ISHIDA
計る・包む・検査する
トータルソリューションのイシダ。
イシダは、計量技術を核に、生産から物流、流通などのあらゆる分野に、先進の技術と豊富な経験でお客様を総合的にサポート。確実なメリットをお約束します。

株式会社イシダ
■お問い合せは
本　社／京都市左京区聖護院山王町44番地　〒606-8392　TEL.(075)771-4141　http://www.ishida.co.jp